おがぴ～通信

おがさわら耳鼻咽喉科クリニック vol.5

平成26年4月14日 発行

耳のQ＆A

今回のおがぴ～通信では、患者の皆さんからよく聞かれる質問を集めてみました。

今回は「耳」編です。

小さなお子さんがかかりやすい中耳炎を中心に、お母さん達から質問の多い事項をＱ＆Ａ形式で集めてみましたので参考にしてみてください。
なお、当院では中耳炎のパンフレットも作成しておりますので、ご希望の方はスタッフまで声をかけてくださいね。

不明な点・疑問な点などあればお気軽におたずねください。

Q 子供が急性中耳炎で、夜間などひどく耳を痛がっています。そのときはどうしたらいいですか？

A 急性中耳炎の場合、炎症が強いため耳をひどく痛がることがあります。夜間などは病院もやっていないし、夜眠れないし、大変辛いですよね。
そんなときは一時的な対応として、手持ちの解熱剤（座薬や内服）を使用してかまいません。熱がなくても使用して構いません。解熱剤には鎮痛作用もありますので、病院を受診するまでの一時しのぎになります。

Q 中耳炎のときはお風呂に入ってもいいのですか？

A 急性中耳炎の場合の入浴は控えたほうが良いでしょう。
お風呂に入り、身体が温まり血行が良くなることで、耳の痛みを助長してしまう可能性があります。
耳の痛みを訴えているときは尚更入浴は控えましょう。
それとは逆に、滲出性中耳炎の場合は特に入浴は問題ありません。

Q 中耳炎はお風呂のお水が入ることで、なるのですか？

A いいえ。中耳炎と外から水が入ることは関係ありません。
耳の中には鼓膜という音を伝える膜がありますが、鼓膜がいわば壁のような役割をしますので、外からの水が耳の奥にまで入ることはまずありません。（※鼓膜に穴があいている場合は例外です）
むしろ中耳炎の原因は、鼻水が長期間続いていたり、鼻の奥のアデノイドが原因だったりと、鼻などが原因で起こることが多いです。

Q 中耳炎って人にうつりますか？

A 中耳炎そのものが人から人にうつるということはあまりありません。しかし耳だれが出ている場合は、耳だれの中に細菌が潜んでいますので、手や指などを介して、他のお子さんに細菌感染することは考えられます。
また、中耳炎は鼻の症状に伴って起こることが多いですので、鼻の症状を引き起こす風邪の症状がうつることで、中耳炎を引き起こすことは十分考えられます。

Q 中耳炎を予防することはできますか？

A 一番身近な予防法はやはり風邪を引かないようにすることです。
しかし保育園など集団保育のお子さんたちは、子供同士でばい菌のやり取りをしてしまうので、どうしても風邪をもらってしまいます。
おうちでお鼻をよく掃除するようにしましょう。
小さいお子さんは鼻かみが不十分ですので保護者の方が鼻吸い器でお鼻をよく吸ってあげてください。回数は出来る限り頻回に。思い切り吸っても耳には問題はありませんので、どんどん掃除してあげてくださいね。

←市販の鼻吸い器です。
ドラッグストアや赤ちゃん用品店で購入することができます。

鼻かみが出来るようになった子でも、小さい子の鼻かみは不十分ですので、保護者の方が吸ってあげるといいでしょう。

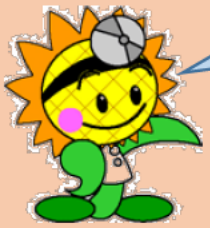
～患者さんへお知らせです～

４月１日から診療時間が変更になりました。

なお、土曜日の診療も再開しました。

	月	火	水	木	金	土
午前	●	●	●	●	●	●
午後	●	●	●		●	

午前 9:00～12:00　午後 14:00～18:00



中耳炎は風邪をひきやすくなる秋～春にかけてかかりやすいのです！

札幌市北区北 24 条西 14 丁目
3 番 8 号メディカルプレイス 3Ｆ

（TEL）　011－747-3387
（URL）　http://www.oga3387.com/

医療法人社団 おがさわら耳鼻咽喉科クリニック